

29年5月

例年 5月中旬から6月下旬に問題になる病害虫です。予防を徹底しましょう！！

○白ねぎ ※べと病の発生前に予防剤「レーバスフロアブル」を使用。

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期
5月中旬 ～ 6月下旬	べと病	レーバスフロアブル	2000 倍	収穫 7 日前まで
発生後	べと病	プロポーズ顆粒水溶剤	1000 倍	収穫 14 日前まで
		アミスター-20 フロアブル	2000 倍	収穫 3 日前まで

注意：薬害の恐れあるため、アミスター-20 フロアブルには展着剤を使用しない。

※べと病発生後は、「プロポーズ顆粒水和剤+展着剤」（治療剤）散布と、
1週間後に「アミスター-20 フロアブル」（治療剤）の2度の散布が必要です。



白ねぎ
べと病発生状況

1回の防除では
止まらない！



6月に入るとハモグリバエ被害（右上端画像）があります。6月上旬に「ダントツ粒剤」を3～6kg/10a 株元散布して対応して下さい。ハモグリバエの被害が拡大すると生育がかなり遅れるので注意して下さい。

○きゅうり

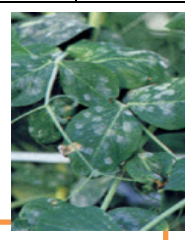
予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率量	使用時期
5月下旬	ウハムシ・アブラムシ	マラソン乳剤	2000 倍	収穫前日まで
	べと病・うどんこ病	ダコニール 1000	1000 倍	収穫前日まで
6月中旬	アブラムシ	アルバリン顆粒水溶剤	2000 倍	収穫前日まで
	べと病・うどんこ病 斑点細菌病	カスミンボルドー	1000 倍	収穫前日まで



きゅうり
べと病・うどんこ病



きぬさや・スナップ
ナモグリバエ・うどんこ病



○えんどう（きぬさや・スナップ）

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期
5月中下旬	ハモグリバエ	アルバリン顆粒水溶剤	2000 倍	収穫前日まで
	うどんこ病	トリフミン水和剤	3000～5000 倍	収穫前日まで

29年5月

ケイトウ定植までの管理について



○3～5本発芽したものは2本にする（はさみで切る）

→軒下育苗：苗が間伸びしやすいのでトレーの位置をたまに回転させる。

⇒太陽の光がまんべんなく当たるように

→トンネル育苗

○朝ビニールを取ることをお忘れなく。

○雨の時はビニールのすそほどは開ける。

○本葉3～4枚になれば

夜間もビニールは雨よけだけにし、露地の環境に慣らす。

→ハウス育苗：

朝サイドビニールを開けることをお忘れなく。高温注意！

※本葉2枚時と3枚時の2回、

液肥（トミー液肥 500 倍液【1ℓの水の液肥2cc】）

ジョーロでかん水がわりに！

【定植適期の苗の状態（大きさ）色はちょっと薄いけど

（上写真）定植すると緑色に回復します】

【（下写真）のように葉が赤くなるまでに定植する】

